



Quercia di Pinocchio

ピノッキオの木、景観文化財に

『ピノッキオ』では、ピノッキオは猫と狐の悪党コンビによって、大きな樫の木に首を吊られてしまう。作者のコッローティ(本名カルロ・ロレンツィーニ)がこのエピソードのアイデアを得たとされる樹齢約600年の樫の木が、トスカナ州政府によって景観文化財に認定される。

この樫の木は、コッローティが少年時代の夏を過ごしたカバンノリ市(ルッカ県)のヴィッラ・カッラーラ公園の中にそびえる。高さは24メートル、幹の太さは全周5メートルにも達し、枝はほとんど水平に張りだしている。土地の伝説では、この木の枝の上で魔女たちが踊ったとされ、「魔女の樫の木」とも呼ばれている。

第二次大戦中には、ドイツ軍の兵士によって、薪にするために切り倒されかけた。その後も、観光客によって樹皮が切り取られたり、害虫の被害を受けたりもしたが、専門家の手で治療がほどこされてきた。

フィレンツェ近郊に
カルーゾ博物館オープン



Fonte: Provincia di Firenze met

20世紀初めに活躍した不世出のテノール歌手、エンリーコ・カルーゾを記念する博物館が、来年の生誕140周年を前にして、2月25日、フィレンツェから西に15キロほどの町ラストラ・ア・シーニャに開館した。カルーゾといえばナポリ出身。その記念博物館がなぜフィレンツェなのか。

フィレンツェ郊外の丘陵地の美しい景観に魅せられたカルーゾは、1906年、秘密の恋人のソプラノ歌手アーダ・ジャケッティと訪れたラストラ・ア・シーニャの丘にヴィラを購入し、憩いのひとときを楽しんだ。しかし、その後、アーダはこのヴィラで、カルーゾの訪米中にお抱え運転手と恋仲になり、裁判沙汰にまで発展することになる。

カルーゾの死後、このヴィラは1990年にグッチ家に譲渡され、1995年にはラストラ・ア・シーニャ市が買い上げた。そして今回、カルーゾ博物館として開館の運びとなったわけだが、開館式当日には、ニューヨークのコレクターから貴重なカルーゾのレコードが贈呈された。館内には、寝室がそっくり再現される他、ミラノのカルーゾ研究センターから寄贈された写真、葉書、カルーゾ直筆のスケッチ、楽譜、演奏会プログラム、レコードなどが展示される。

チェルノブイリは証明した
— 地球が、核の事故が起きるには
あまりにも小さい惑星だということを。
(本文より)

ピエルパオロ・ミッティカ著
児島修 訳
柏書房



福島の写真集も
近く出版される。

Renato Dulbecco (1914/2/22 - 2012/2/19)

ゲノム研究の先駆者、レナート・ドゥルベッコがカリフォルニア州サンディエゴで亡くなった。トリノ大学医学部を卒業後、軍医としてフランス戦線、ロシアのドン川流域に赴任。帰国後はレジスタンス運動に参加する。戦後、アメリカの招きを受けてインディアナ州ブルーミントンの研究所でバクテリオファージ・ウイルスを研究。1955年にはポリオ・ウイルス変異体の隔離に成功し、2年後のワクチン製造に導く。

腫瘍ウイルスが細胞内に入ると、そのDNAが細胞の遺伝物質の中に取り込まれ、変異させるメカニズムを発見。現代腫瘍学の基礎となり、エイズの原因究明にも寄与したこの研究により、1975年、ノーベル医学賞を授賞した。

1987年、イタリアを国際ヒトゲノム・プロジェクトの拠点とするために帰国するが、政財界の理解を得られず、資金不足のために数年後にはアメリカに戻る。

メディアを通して研究の大切さを伝えたいとの思いから、1999年にはサンレモ音楽祭にゲストとして参加。その出演料で、若者たちが外国に行かなくても活動が続けられるように研究センターTelethon Dulbeccoを創設する。彼等の研究に対する愛情を育むことこそ自分の最大の務めであるとしていた。

Mundus novus
新世界
Amerigo Vespucci
(1454/3/9 - 1512/2/22)



新大陸アメリカの存在を初めてヨーロッパに知らせたアメリーゴ・ヴェスプッチの没後500年にあたる今年、故郷フィレンツェではさまざまな記念行事やその生涯と航海を紹介する展覧会が開かれている。ポンテ・ヴェッキオの近く、オンニサンティ地区で生まれたアメリーゴは、若い頃メディチ家のネオプラトン・アカデミーで学び、30代後半までこの町に暮らしていた。

1492年、メディチ家に請われ、スペインのセビリアに赴任。フィレンツェの商人や銀行の財務アドバイザーを務めていた。しかし、人文主義の薫陶を受け、地理学や天文学の素養もあったアメリーゴは、金融や貿易にたずさわりながらも、常に大航海を夢見ていた。

1499年、スペイン国王フェルナンドの誘いを受けて、ついに航海への参加が決まる。カディスを出航し、大海原を南西に進むと、目の前に現われたのは果てしなくつづく海岸線。現在のマカオ辺りを探検しながら、水上住居が立ち並ぶ小さな村々を見てヴェネツィアを思い出し、その地をVeneziola(ヒスパニア語でVenezuela)と名づけた。さらに南下し、アマゾン河口まで達すると、もはやそこがインドの西側ではなく、新しい大陸であることを確信し、フィレンツェの友人ロレンツォ・ディ・ピエルフランチェスコ・ディ・メディチ宛の手紙に、ヨーロッパ、アジア、アフリカのほかに第4の大陸、「新世界」が存在することを書き記す。ロレンツォはボッティチェッリの『プリマヴェーラ(春)』に描かれたマーキュリーのモデルともいわれるルネサンスの著名文化人。その当時、彼に書簡を送ることはヨーロッパ中に伝えることに等しかった。

リスボンから出航した2回目の探検では航路をさらに南にとる。諸聖人の日にあたる1501年11月1日、現在のサルヴァドールを望む大きな湾に錨をおろし、ここをパイア・デ・トードス・オス・サントス(諸聖人の湾)と名づけた。この頃、現地住民との物々交換やのどかな交流もあったといわれている。1月には波静かな美しい湾に停泊。河口のように見えたこの地域をRio de Janeiro(1月の川)と呼んだ。嵐、飢え、座礁。そして、未知なるものへの不安に満ちた航海。だが数年後、世界地図は書き換えられ、南北の大陸にアメリーゴの名がつけられた。

***** Giappone in Italia *****

『Paesaggi di Cultura Giapponese』
(日本文化の風景)

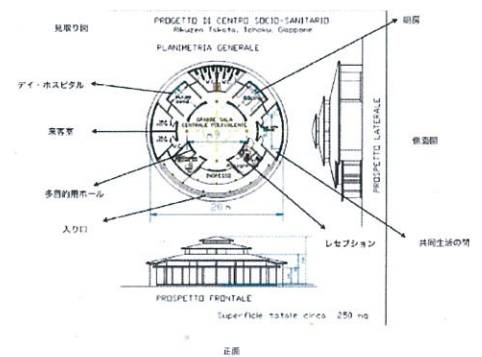
サンタ・マリア・デッラ・スカラ博物館(シエナ)
4月13日~7月10日

会期中には、岩手日報の提供による東日本大震災の写真54点を展示する「写真展」、子供たちによる「夢を形に」をテーマとする作品展と絆の思いをこめた千羽鶴、イタリア人レポーター、ボランティアの女性、岩手日報記者とのミーティング、ジャズコンサート「Music for Japan」、エネルギーと環境をテーマとするシンポジウムなどが開かれる。

シエナ大聖堂前のサンタ・マリア・デッラ・スカラは中世に建てられたヨーロッパで最も古い病院の一つ。病める人々のみならず、巡礼者、貧しい人達、親のない子供たちを迎え入れ、他の都市の模範となった。1995年まで病院として続いていたが、現在は博物館となっている。

***** Italia in Giappone *****

陸前高田のコミュニティーセンター



震災から3ヶ月後、ローマの福祉団体「聖エジディオ共同体」の代表たちは、イタリアからの連帯と友情の思いを被災者に伝えようと、陸前高田を訪れた。

そして、デイ・ホスピタル、多目的ホール、共同生活の間をそなえたコミュニティーセンターの建設を企画して市と協定を結び、高齢者の支援を中心に、地域の雇用にも役立てたいとしている。現在、イタリアと日本で募金活動中。

Festival del Cinema Italiano 2012 Tokyo

イタリア映画祭 2012

4月28日~5月4日

有楽町朝日ホール

『楽園の中へ』、『気楽な人生』、『ジャンニと彼をめぐる女たち』など14本を上映。

Italiano ⇄ Giapponese
イタリア語 ⇄ 日本語

翻訳 Traduzione	通訳 Interpretariato
各種証明書・契約書	同時・逐次通訳
音楽・美術・法律	商談・テクニカル通訳
レター・論文・マニュアル	記者会見・セミナー
フッシュヨソ・ス・ツ・料理	インタビュー・オペラ

tel: 03-5296-1930

fax: 03-5296-1940

アド・イタリア株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-19-14

AD ITALIA Co., Ltd.

2-19-14 Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo

ad@ad-italia-tokyo.com

http://aditalia.jp